

# 技術開発部報告書情報シート

記入年月日:2002年5月15日

情報No.	K-02-4	情報区分	プラ処理協研究報告
-------	--------	------	-----------

題名 報告書名	プラスチック包装材のリサイクルシナリオのエコ効率分析 【Eco-efficiency of recovery scenarios of plastic packagingA peer reviewed study commissioned by APME (日本語訳)】				
報告年月	2002年3月	ページ数	95	著者・出版元	プラ処理協

【キーワード】

処理方式	MR、CR、TR	要素技術	
樹脂類別	混合プラスチック	化学物質名	
形状別	包装廃棄物	用途別	
法規制		国別	ヨーロッパ

調査 研究 内容	<p>ヨーロッパプラスチック製造者協会（APME）の好意により、APMEがホームページに公開しているレポートの翻訳版を刊行した。</p> <p>プラスチック包装材のリサイクルシナリオを環境影響及び経済性の両面から評価するエコ効率分析で検討している。</p>
調査 研究 結果	<p>リサイクルシナリオ</p> <p>埋立               : 全量埋立</p> <p>現在               : MR(12%),FR(3%),ER(15%),埋立(70%)</p> <p>シナリオI       : MR(15%),                ER(85%)               MR; マテリアルリサイクル</p> <p>シナリオII       : MR(15%),FR(10%),ER(75%)       FR; フィードストックリサイクル</p> <p>シナリオIII      : MR(25%),FR(10%),ER(65%)       ER; エネルギー回収 (ごみ発電)</p> <p>シナリオIV      : MR(35%),FR(15%),ER(50%)</p> <p>検討結果</p> <p>現在の処理方法を全て埋立に変更するとコストは下がるが環境性が大幅に悪化する。</p> <p>シナリオIにすると、埋立とほぼ同じコストで環境影響が大幅に改善される。</p> <p>シナリオII~IV MRを増やしてERを減らしても環境影響は余り改善されず、コストが大幅に増加する。</p>
備考	